

# 平成28年度事業実施報告書

## 1 国民体育大会への参加支援

(公財)日本体育協会、国及び開催地の都道府県が共同して開催する国民体育大会に、本県代表選手を選抜し、県とともに長野県選手団を派遣した。

### (1) 第37回北信越国民体育大会への選手団派遣

8月26日から8月28日までの3日間を中心会期として、長野県(一部新潟県)で開催された第37回北信越国民体育大会に、689名の選手団を派遣した。

### (2) 第71回国民体育大会への選手団派遣

10月1日から10月11日までの11日間を中心会期として、岩手県で開催された第71回国民体育大会に、483名の選手団を派遣した。

第71回国民体育大会の成績は男女総合19位(1,041.5点)女子総合18位(623.5点)であった。

### (3) 第72回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

ア 平成29年1月27日から1月31日までの5日間、長野県で開催されたスケート競技会・アイスホッケー競技会に、130名の選手団を派遣した。

イ 平成29年2月14日から2月17日までの4日間、長野県で開催されたスキー競技会に、120名の選手団を派遣した。

ウ 冬季大会終了時の成績は男女総合1位(430点)、女子総合1位(171点)であった。

なお、スケート競技会では、昨年に続き男女総合・女子総合連覇を初めて達成した。また、スキー競技会は、男女総合・女子総合とも3位の成績をおさめた。

### (4) 国民体育大会予選会の開催

国民体育大会の参加に向け、各競技における本県の代表となる優秀な選手を選抜するため、本県と各競技団体(36団体)が共催で県予選会を開催した。

### (5) マルチサポート事業

国体県代表となった選手・チームの事前合宿にサポートチームを派遣し、コンディショニング調整等を行った。

○事前強化合宿等における帯同・サポート 延べ172名(17競技)

### (6) 国体選手団ユニフォームの購入助成

国体選手等が本県選手団ユニフォームを購入する際に、その費用の一部を助成した。

(7) 企業学校訪問

国民体育大会等での活躍が期待できる選手及び指導者の所属する企業又は学校に出向き、企業、学校での選手の練習環境の整備や国民体育大会への参加に対する理解と応援について依頼した。

(8) 国体参加選手等への激励

本県代表として国体に参加する選手等に対し、激励品を贈り支援した。

## 2 競技力向上事業の推進

(1) 指導者養成事業

指導者の資質向上等を図るため、中央（(公財)日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター等）の動向や最新情報を取得する「トップ指導者ミーティング」や「スポーツ指導者研修会」を開催した。

○トップ指導者ミーティング

7月2日 ホテル国際21 参加者 53名

○長野県スポーツ指導者研修会

11月26日 ホテルモンターニュ松本 参加者 183名（中南信コース）

12月10日 長野バスターミナル会館 参加者 172名（東北信コース）

(2) ジュニア競技力向上事業（重点強化校等特別強化事業）

各競技団体等と連携しながら、本県の次代を担う素質ある中学生及び高校生を育成するため、県と連携して中学生強化競技団体、重点強化校・クラブ等を指定し競技活動の支援を行った。

○中学生強化競技団体 20団体

○重点強化校 8校、重点強化クラブ 16クラブ

○特別強化校・クラブ（高校14、中学校2、クラブ8）

(3) 競技力向上環境整備事業

本会が所有する馬2頭の管理を県馬術連盟に委託した。

(4) 競技者就業支援事業

長野県教育委員会が開催したアスリートと県内企業をマッチングする長野県版「アスナビ」説明会に協力した。

(5) 競技活動支援

8月に開催されたりオ五輪に出場した本県関係選手の競技活動に対し、激励品等を贈り支援した。

### 3 競技者育成（SWANプロジェクト）事業の推進

冬季競技において優れた素質を有する競技者を早期に発掘し、国際舞台で活躍できるアスリートを組織的・計画的に育成するため、SWANプロジェクトを関係競技団体、(公財)日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター等と連携して推進した。

○実行委員会 2回開催

○選考部会 5回開催

○育成部会 4回開催

○選考会 1次：10月23日（松本）、10月29日（長野） 2次：11月19日

○開講式 12月3日 エムウェーブ 8期生 21名

○育成プログラムの実施（月3回）

### 4 競技者等サポート事業

#### (1) 医科学サポート事業

選手がベストな状態で競技に臨めるよう、栄養指導から故障個所のケアの指導等まで、選手や監督等との関係を密にしたサポート体制を確立するほか、国民体育大会参加予定者を対象にメディカルチェックを行い、個人個人にあった運動処方を、本会の各種サポート団体の協力を得て実施した。

#### (2) ドーピング防止教育・啓発事業

スポーツ選手による薬物の乱用や誤用を防ぎ、健全なスポーツ活動を推進するため、選手や指導者を対象とした教育・啓発活動を実施した。

### 5 長野県スポーツ少年団の育成

#### (1) 交流交歓事業

スポーツ少年団員の体力づくりや仲間づくりを通して、青少年の自主性及び創造性を育むため、競技別交流大会や野外活動を実施した。

また、国際的視野を広めるための日独スポーツ少年団同時交流事業に積極的に参加し、団活動の活発化と団員の更なる資質向上を図った。

平成28年度（10月17日現在）における登録市町村数は44市町村で、単位団数554団、団員15,471名、指導者3,681名となっている。

#### (2) リーダー育成事業

各地域の単位スポーツ少年団の活動をしながら年少団員のまとめ役や、指導者の補助的な役割を担い、スポーツ少年団の中核となって活動するリーダーを育成するため、小学5、6年生及び中学生を対象とするジュニア・リーダースクールを開催した。

○ジュニア・リーダースクール

9月10日～11日 長野県須坂青年の家 参加者23名

### (3) 指導者育成事業

スポーツ少年団活動の中心的指導者として活動を行うために必要な知識や技術を養成するため、日本スポーツ少年団等と共催でスポーツ少年団認定員養成講習会等を開催するとともに、全国指導者研究大会や北信越ブロック指導者研究協議会に参加した。

#### ○スポーツリーダー養成講習会兼認定員養成講習会

・東信地区	5月28日～29日	東御市	受講者 74名
・南信地区	6月25日～26日	駒ヶ根市	受講者 34名
	11月12日～13日	岡谷市	受講者 36名
・中信地区	11月5日～6日	安曇野市	受講者 46名
・北信地区	2月18日～19日	千曲市	受講者 47名

## 6 スポーツ普及・交流事業の推進

地域住民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促すため、各競技団体及び郡市体育協会が実施するスポーツ教室・スポーツ大会に対し支援をした。

## 7 総合型地域スポーツクラブの育成支援

生涯スポーツ社会の実現に向け、(公財)日本体育協会事業によりクラブアドバイザーを設置し、県体育センター及び県教育事務所と連携し総合型地域スポーツクラブの育成を推進した。

## 8 スポーツに関する情報提供

各競技会の成績や本会のスポーツに関する取組状況などを提供するため、隔月刊「体協だより」及び年刊「体協ながの」を発行した。また、本会ホームページとマスメディアの積極的活用によりスポーツに関する情報発信に努めた。

## 9 スポーツ振興功績者の表彰

表彰規程により、体育・スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、国民体育大会等において優秀な成績をおさめた者に対し記念品を贈り、県民のスポーツに対する意識高揚を目指すなど、スポーツの振興を図った。

#### ○スポーツ振興功績者表彰

有功章：個人 19名、団体 6

栄光章：個人 6名

勲功章：2名

#### ○国体等優勝者記念品贈呈

第71回国民体育大会本大会：6名

第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会：19名

第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会：2名

平成28年度全国高等学校体育大会：3名

平成28年度全国中学校体育大会：10名

## 10 賛助会員の確保

新たな寄附の開拓を図るため企業等を訪問したほか、広く県民から賛助会員を募り、県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図った。

賛助会員総数 251（法人加入 136、個人加入 115）  
うち新規会員数 20（法人加入 2、個人加入 18）

## 11 二巡目国体招致に向けた活動

平成39年（2027年）の第82回国民体育大会の本県招致を目指し、関係機関への要請を行うなど、招致に向けた働きかけを行った。

## 12 関連事業への協力

- (1) 県教育委員会が策定した「長野県スポーツ推進計画」（計画期間：平成25年度～29年度・平成25年3月14日決定）に基づき、体育・スポーツ振興施策の推進を支援した。
- (2) 平成24年7月に締結した「スポーツによる元気な信州づくり包括協定」の取組の一環として、「長野県障がい者スポーツ推進会議」に出席するなど、障がい者スポーツの推進に協力した。